

独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター

医療従事者全員が使える 臨床現場の共有ツール

消化器内科 臨床研修部長 藤本 剛 先生



過不足のない最新情報が非専門領域の診療をサポート

医学情報ツールへ全ての電子カルテ端末からすぐにアクセスでき、必要な情報をすぐにさっと引き出して対応する「イージーアクセス・クイックモーション」は急性期医療を行う臨床医にとって不可欠の要素です。

「今日の臨床サポート」は、病態から診断・治療アルゴリズムまで疾患の全体像を迅速に把握でき、情報が多すぎず少なすぎず、治療指針をぱっと把握できるため臨床現場に最適です。救急外来で非専門領域に対応するときや、専門の疾患であっても最新情報を再確認したいときなどに私も使用しています。特に非専門領域の滅多に診察しない疾患に対応する場合には、分かりやすいフローチャートがあるのは本当にありがたいと思っています。

ハンドアウトも良いですね。高齢の患者などには小難しい医学用語を並べて説明するよりも、病気の名前を正しく伝えることが大切です。ハンドアウトをプリントアウトして渡せば、忘れてしまったり、別の病気と間違えて覚えてしまったりすることはありません。

検査情報などのインプットと薬剤情報など患者さんのためのアウトプット用の情報が同時に得られる上、原著論文など高度な知識がコンパクトに収まった利便性の高いツールであることに加え、日本語で書かれているため、医師に限らず全ての医療従事者が多岐にわたって容易に利用できることが導入の決め手となりました。

今日の臨床サポート

CASE STUDY

<http://clinicalsup.jp/>

救急外来の強い味方。
今すぐに知りたいことを検索

小林 宏紀 先生 (研修医 2 年目 麻酔科研修中)



いつでもどこでも電子カルテから検索可能で、今すぐにこの疾患を調べたいというときには手放せません。救急外来や患者から質問があった際などに利用しています。学会発表など詳しくじっくり調べる場合には英語の文献などでも良いのですが、臨床の場ですぐに情報が必要なときには日本語でエッセンスがまとまって書かれている「今日の臨床サポート」が便利です。

先日も SLE の既往をもつ患者さんが発熱で救急外来を訪れた際、診断基準や疾患活動性の評価などを確認するのに非常に役立ちました。また、上級医の不在時に、研修医同士で診断や治療を検討する際の助けになったこともあります。日本語サマリー付きの原著論文などしっかりしたエビデンスにもボタン1つでアクセスでき、研修医にはまさに心強い味方です。

「患者向けハンドアウト」が
患者説明の参考資料に

永淵 聡 副看護師長



もっとも頻繁に利用しているのは、「患者向けハンドアウト」です。平易な言葉で病態や検査、治療、日常生活の注意点などが簡潔に記載され、1枚で印刷できるため、患者説明の参考資料として重宝しています。ガイドラインから、検査、投薬、診療報酬点数まで網羅され一連の流れで見られるため、業務中にも手軽に検索でき、調べものに要する時間は明らかに短くなりました。看護師は患者様に実際に与薬する立場なので、要注意薬剤の情報まで網羅されているという点はありがたいです。

トップ画面の疾患情報は、医師の治療の意図を理解したり、同僚との知識共有として活用しています。今後は看護診断の情報などが付加されれば、チーム医療の共有ツールとしてさらに利用価値の高いものになるのではないのでしょうか。



エルゼビア・ジャパン株式会社 ソリューション営業本部

〒106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15 東麻布 1丁目ビル 3 階

TEL 03-3589-6372

FAX 03-3589-6371

E-mail e_info@elsevier.com

販売代理店: